

## 草原再生



子供たちへ引き継ぐ千年の草原



採草風景

### なぜいま、阿蘇の草原再生なのでしょう

世界最大級のカルデラ地形の上に広がる広大な阿蘇の草原。

平安の昔から、放牧、採草、野焼きなど地域の生業とともに維持されてきた阿蘇の草原は様々な文化を育むとともに、多様な草原生態系や豊かな景観を生み出しています。

まさに、人が自然とともに生きてきた文化の象徴といえます。



### 阿蘇の草原は危機に瀕しています！

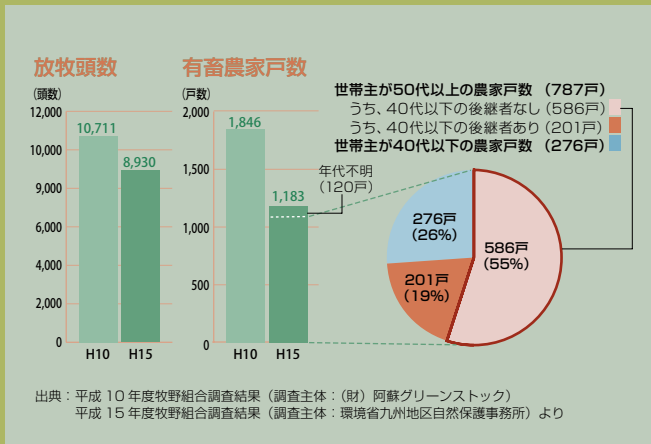
#### ●放牧頭数の減少など、牧野利用が低下

近年の畜産業の低迷により、放牧頭数が減少しています。平成15年までの5年間で17%減少し、1万頭を下回っています。また、農業や生活様式の変化により、採草による野草の利用が減り、利用されない野草地が増えています。

#### ●有畜農家の減少・高齢化により管理作業も困難に

有畜農家戸数は、平成15年までの5年間で、約36%にあたる633戸が減少しました。また、現在50代以上で後継者がいない有畜農家は全体の55%におよび、高齢化と後継者不足が深刻です。

有畜農家の減少や高齢化がこのまま進むと、放置され藪化する草原が広がることが危惧されます。



出典：平成10年度牧野組合調査結果（調査主体：(財)阿蘇グリーンストック）  
平成15年度牧野組合調査結果（調査主体：環境省九州地区自然保護事務所）より

その結果、国立公園としての景観や草原生態系が損なわれつつあります。

阿蘇の草原は多くの人々に恵みをもたらしているかけがえのない資産です。  
この千年の草原を次代の子供たちに引き継いでいくため、阿蘇草原再生に取り組みます。